



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉

2026年08月24日 第1281「週刊五十嵐レポート」

優秀な新入社員

8月20日に「AI経営戦略セミナー」というテーマで講演をした。私はITでもAIの専門家ではない。単なるユーザーである。ユーザー視点から60分ほど講演し、その後参加者のアンケート等の質疑応答で30分、計90分ほど話した。

AIを使う前に会社として前提条件がある。「アナログ情報」→「デジタル化」されているかどうか。例えば、顧客情報はデジタル化されているか。顧客ごとの購入履歴、取引履歴がデジタルですぐにわかるか。

次に「デジタル化」→「IT化」されているか。「IT化」とは社内に情報共有化がされているか。社内における部門間の「問い合わせ」が頻繁に行っていないか。「問い合わせ」があるということは「情報の共有化」がされていないことを意味する。誰でもが見てわかることになっていない。

「デジタル化」「IT化」になると「データ」の蓄積が可能になる。そこで「AI」の導入になる。「アナログ」→「デジタル化」→「IT化(共有)」→「蓄積」→「AI」→「分析・提案」→「改善・行動」

AIは万能ではない。AIは優秀な新入社員と考えた方がいい。知識は豊富。24時間働く。文句は言わない。但し、間違えることがある。自信満々に間違える。よって上司が必要になる。最終判断は人間になる。(現在のところ)

AIが得意な事は、1. 調査、2. 分析、3. 要約、4. 文書作成。会議議事録はお手の物。Zoom会議は文字起こしから要約する。顧客との商談等の日報。

どんな作業に時間を取られるかという問いに、「見積書作成」「FAXによる受注の入力作業」「企画書作成」「申請書、届出書作成」「出荷業務」「営業日報」などの回答があった。多くは書類作成。これはAIに置き換えられる。会議・商談等は「文字起こし」ができるか。できれば、AIが簡単に要約できる。

私はこの1年毎日AIと付き合ってきた。最初は「コンサルタント業」はなくなると考えていた。しかし今は、「選手生命が伸びた」と思っている。AIは良き相棒、良き参謀になった。間違えることもあるし、忘れることもあるが、日々鍛えることでAIは賢くなる。

ちょっと
気になる出来事

8月20日付日経新聞、「中国ロボ新興、時価10兆円 ユニツリーが上海上場」という記事。今回の上海旅行でユニツリーの店舗を見てきた。ロボットだから将来期待で買われている」だけではなく、すでに売上を急拡大させ、黒字化までしている。

ユニツリーの強みが単なる「宙返りできるロボット」ではなく、①安く作れる②大量に作れる③実際に売っている④そこからデータを集める⑤AIを賢くする⑥さらに売るという循環に入り始めていること。量産→コスト低下→販売増→データ増加→改善→さらに量産

トップの王氏によれば、ロボットが「机まで行く」「手を伸ばす」「物を取ろうとする」というところまではかなりできる。しかし実際に物をつかむ最後の数センチ、場合によっては数ミリになると、視覚、位置、力、触覚などの小さな誤差が積み重なり、失敗してしまう。

日本にもチャンスがある。日本→高度な製造現場を実験場にする→熟練者の作業をセンサー・映像・力覚などでデータ化する→数ミリ単位の作業データをAIに学習させる→精密作業に強いフィジカルAIを作る。これからはフィジカルAI競争です。



一口メモ
知識

果たすべき貢献を考えよ

成果をあげるには、自らの果たすべき貢献を考えなければならない。手元の仕事から顔をあげ、目標に目を向ける。組織の成果に影響を与える貢献は何かを問う。そして責任を中心に据える。(「経営者の条件」より)

ドラッカー名言集 仕事の哲学 (ダイヤモンド社)より

「忙しく仕事をする事」と「会社に成果を出す事」とは違う。「今日、目の前の仕事を何件こなしたか」ではなく、「自分が社長として、会社にどんな成果を残すべきか」から仕事を考えなさいという意味。

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

